

事業名	水防対策費			調査番号	96
細事業名	水防用備蓄資材整備費	財務コード	136901		
担当部課室	県土整備 部	治水 課	災害 担当 (内線)	7358	

事業の概要

実施期間	始期 H12 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県水防支部(出先建設事務所)・水防管理団体(市町村)	その対象をどのような状態にして 洪水時に、効果的な水防活動・災害応急工事が行える	結果、何に結びつけるのか 河川災害等の被害の未然防止と応急仮工事・本工事への利用による被害の最小化
内容	・県管理の21箇所の水防倉庫及び防災備蓄倉庫における水防資機材の備蓄(補充・更新) ・水防活動への活用 ・水防訓練への活用 (主な水防資材) 土のう、フトン籠、麻袋、網袋かご、単管、トラロープ、鉄線、塩ビ管、排水ホース、シート、オイル吸着マット、オイルフェンス丸太材、杭、チェーンソー、スコップ、掛矢、ツルハシ、点滅灯、投光器、サーチライト、草刈機、発動発電機等		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	水防資材・器具の充足率(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績(見込)	99.0	100.0	96.0	100.0	93.0	100.0	
		達成率	99.0	100.0	96.0	100.0	93.0		
		達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		2,447	2,447	2,447	2,324	2,324	2,091	1,881	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	災害発生等有事の際に備え、資材を備蓄しておく必要があり、被害の未然防止や軽減等に重要であることから、十分な成果がある。
成果指標			

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 その他( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	有事の際に使用する資材であるため、成果向上を望むことは難しいと考えられる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他( 水防資材の整備計画の見直しを実施する余地がある )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	平成27年度より5か年にわたる水防資材整備計画に基づいて資材の整備を進めている。今以上に水防活動等が円滑になされるような資材を整備するために、計画の見直しを実施する必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	水防資材整備計画の見直しには、水防倉庫に備蓄すべき資材の基準などの見直しが必要となるが、関係機関との調整等に時間を要することから、次期計画策定に合わせて見直すことと整理された。
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。